

【開催日時】 12月10日（木）14：00～15：30

【場 所】 校長室

【参 会 者】 藤本 隆司 様（本校教育活動支援員）、鉄本 佳代子 様（第二新緑自治会長）、
佐々木 信子 様（スポーツ推進委員）、石 部 巧 様（鳥飼東公民館館長）、
堤 あけみ 様（主任児童委員）、校長、教頭（計7名）

【内 容】

(1) 授業の様子（参観）→5・6時間目

(2) 前回（6/25）以降の学校の様子

- 臨時休業中に実施できなかった授業時間数を確保するため、7月～朝のモジュール学習と水曜日の6時間目授業（1年生を除く）を開始した。また、行事の精選や夏季・冬季休暇の短縮も並行して実施した。
- 行事予定を大幅に変更する一方、可能な限り行事を実施し、子どもたちの成長を促す指導に取り組んだ。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、子どもたちも大きなストレスを感じている様子であった。（例年の同じ時期に比べ、いじめや問題行動の件数が増加した。）
- 校内でケース会議を開くとともに、関係機関とも連携を図りながら、組織的に指導を行った。
- 9月末からiPadが配備され、6年生を中心に活用を試みた。
- 授業参観などの機会が減る中、『学校の見える化』の一環として、学校ホームページを日々更新してきた。
- 学校アンケート（学校教育自己診断）の集計結果を分析し、課題を解決していきたい。

(3) 学校経営計画の進捗状況

- 当初の予定を大きく変更したため、記載内容どおりには進んでいないが、修正を加えながら、取組みを進めている旨を校長から説明した。
- 遅ればせながら、校内研修や授業研究を実施し、2月5日の研究発表会に繋げていきたい。

(4) 質疑・応答

- コロナの影響で、行事を中止にする市や学校がある中、宿泊行事や学校行事が実施されて良かった。
 - 子どもたちもイライラしたり、我慢したりすることが多く、しばらくはこの状態が続きそう。傾向として、現在は家庭内感染が多いようだが、全体的にマスクをしているおかげで、インフルエンザの患者数は減っていると聞いている。
 - 本校だけではなく、今年はスタートから例年どおり上手くいっていない。本校の子どもたちの様子を見ていると、小規模校の良い所とそうでない所を感じることもあり、学校・家庭・地域が連携して課題解決に当たる必要があるのではないかと感じている。
 - 暗いニュースが多く流れる中、医療従事者に対して感謝の気持ちを伝える「ほっと心が温まるような話」や「感動するような話」を聞ける機会があると良い。
 - コロナウイルスによって、学力格差が広がるのではないかと危惧している。iPadなどについて、興味や関心を示さない子どもへの指導が今後必要ではないかと感じた。
- ※次回、2月に日程調整の上、学校協議会を開催予定。